

電子入札システム FAQ

NO	発注者	受注者	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
1	○	○		○	○		電子入札システムを利用するためには何が必要ですか？	電子入札システムをご利用いただくには、以下の機器等が必要です。 ①パソコン ②インターネット接続環境 (HTTP、HTTPS、SMTP、LDAP通信が可能なこと) ③電子証明書(ICカード) ④ICカードリーダー/ライタ ⑤コアシステムインストール用の関連ソフト		2016/6
2	○	○		○	○		パソコンのOSは何がいいですか？	以下のOSが動作保証対象です。 ①Windows8.1エディションなし、Pro (32bit版/64bit版) ②Windows10 Home/Pro (32bit版/64bit版) ※認証局や発注機関により対応OSが異なる場合があります。 ICカードを取得した認証局、および他にご利用される発注機関に確認してください。		2020/1
3	○	○		○	○		用意するパソコンの要件を教えてください。	電子入札システムにて使用するパソコンの要件は以下のとおりです。 OSの種類により要件が異なりますのでご注意ください。 ①CPU Intel Core i5 3.1GHz同等以上推奨 ②搭載メモリ 2.0GB以上推奨 ③HDD 1ドライブの空きが、1.0GB以上の空き容量 ④グラフィックプロセッサ(GPU) WDDM対応グラフィックプロセッサ (VRAM128MB以上) 推奨 ※認証局および他にご利用される発注機関によりハードウェア条件が異なる場合があります。		2020/1
4	○	○		○	○		電子入札が動作するブラウザは何がありますか？	電子入札システムは「Internet Explorer11」のみ対応しております。 Internet Explorer以外のブラウザ(Chrome、Firefox等)には対応しておりません。 (注意事項) ※Internet Explorerは32 bit版をご利用ください。 ※Windows 8.1はデスクトップ版のInternet Explorerのみサポート対象となります。 ※Windows 10に搭載されているMicrosoft Edgeは使用することができません。 ※Internet Explorer11以外のバージョンは、マイクロソフト社が2016年1月12日よりサポートを終了したバージョンです。お早目にマイクロソフト社がサポートしているバージョンへ変更してください。		2017/6
5	○	○		○	○		インターネット接続環境とは具体的にどのような通信ができればよいのですか？	以下の通信プロトコルが利用可能である必要があります。 インターネットサービスプロバイダー(ISP)または社内のシステム管理者にご確認ください。 ・HTTP :Hypertext Transfer Protocol (WWW) ・HTTPS:Hypertext Transfer Protocol Security (SSL) ・SMTP :Simple Mail Transfer Protocol (電子メール) ・LDAP :Lightweight Directory Access Protocol (注意事項) 社内LANを使用する場合、社内のファイアーウォールが上記通信プロトコルの通過を許可しているかご確認ください。		2016/6
6	○	○		○	○		Macやタブレット、スマートフォンは対応していますか？	対応しておりません。		2016/6

電子入札システム FAQ

NO	発注者	受注者	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
7	○	○		○	○		電子入札システムを使用するパソコンは他業務と兼用できますか？	電子入札システムを使用するためには、パソコンの環境設定が必要となります。他業務との競合によりパソコンの設定が変わってしまうこともあるため、可能であれば電子入札システム専用のパソコンをご準備ください。		2016/6
8		○		○	○		国土交通省や他発注機関の電子入札システムを利用しているICカードは利用できますか？	ご利用のICカードの認証局にお問い合わせください。また、ご利用のパソコンには「java.policy」の設定を追加する必要があります。併せて認証局にお問い合わせください。		2016/6
9	○	○		○	○		Javaポリシー (java.policy) とは何ですか？	電子入札システムのプログラムをクライアントマシンにダウンロードするための設定です。この設定を行わないと電子入札システムを使用することができませんのでご注意ください。設定方法は認証局毎に異なりますので、ご利用の認証局へお問い合わせください。		2016/6
11		○		○			電子入札システムにログインしようとすると、「JavaTMは、最新のものではなく更新が必要なためブロックされました。」と表示されます。	Internet Explorerの信頼済みサイトの設定を行ってください。 ①「Internet Explorer」を起動する。 ②「ツール」メニューより「インターネット オプション」を選択する。 ③「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」ボタンをクリックする。 ④「次のWebサイトをゾーンに追加する」に以下のURLを入力し「追加」ボタンをクリックする。 https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp (電子入札のみ使用する場合はこちらのみ) https://www.epi-asp.fwd.ne.jp ⑤「OK」ボタンをクリックし「インターネットオプション」画面の「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックする。 ⑥「ポップアップブロックの使用」を「無効にする」に変更する。 「OK」ボタンをクリックし各設定画面を閉じる。	①信頼済みサイトの設定	2016/6
12		○		○		○	発注図書や入札公告等のファイルがダウンロードできません。	Internet Explorerの互換表示設定を行ってください。 ①「Internet Explorer」を起動する。 ②「ツール」メニューより「互換表示設定」を選択する。 ③「追加するWebサイト」の欄に以下を入力し、「追加」ボタンをクリックする。 fwd.ne.jp ④「互換表示に追加したWebサイト」内に入力したアドレスがあること確認する。 ⑤「閉じる」を押して設定画面を閉じる。	②互換表示設定	2016/6
14		○		○	○	○	画面のレイアウト表示が崩れてしまいます。	Internet Explorerの互換表示設定を行ってください。	②互換表示設定	2016/6
15	○	○		○			互換表示設定が消えてしまいます。	Internet Explorer11を使用している場合、「閲覧の履歴」を削除すると互換表示設定も削除されてしまいます。「閲覧の履歴」を削除した場合は、再度互換表示設定を行ってください。 また、何度互換表示設定を行っても設定が消えてしまう場合は、下記操作を行ってください。 ①「Internet Explorer」を起動する。 ②「インターネットオプション」の「全般」タブ内、「終了時に閲覧の履歴を削除する」のチェックを外す。	②互換表示設定	2016/6
16	○	○			○		フォントの設定は必須ですか。	入札書等が文字化けする可能性があるため、フォントの設定は必ず行ってください。 ①IMEプロパティを開く。 ②[詳細設定]ボタンを押下する ③[変換]タブを押下する。 ④[詳細設定]ボタンを押下する。 ⑤「JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する」にチェックを入れる。	⑧フォントの設定	2020/1

電子入札システム FAQ

NO	発注者	受注者	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
18		○		○	○		電子入札システムにログインしようとすると、日付と時刻が表示されず、ログインできません。 ・Plugin tag OBJECT or EMBED not supported by browserと表示される ・真っ白になってしまう ・「×」マークが表示される ・「！」マークが表示される	下記いずれかが原因の可能性があります。 ①Javaポリシー (java.policy) の設定に誤りがある。 Javaポリシーの設定を確認してください。 設定するアドレスは「https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/GALS/」です。 ②ご利用のJavaがシステム対応外のバージョンである。 Javaをアンインストールし、再度対応しているJavaをインストールしてください。 対応しているJavaのバージョンは、認証局毎に異なりますので、認証局にご確認ください。 ③複数のJavaがインストールされている。 Javaが複数インストールされている場合、ログインできない可能性があります。	④Javaバージョン確認	2016/6
19	○	○		○	○		電子入札システムにログインしようとすると、Javaの警告メッセージが表示されます。 何を選択したらいいですか？	ご利用のJavaバージョンによって、警告メッセージの表記が異なります。 下記を参考にしてください。 ①「Java update needed」または「Javaのアップデートが必要です」と表示された場合 「Later」または「後で」を選択してください。「更新」はしないでください。 ②「Javaセキュリティ警告」または「セキュリティ警告」が表示された場合 必ず「実行」を選択してください。「更新」はしないでください。 ※「更新」をするとJavaの入れ直しが必要になる場合がありますのでご注意ください。	⑥Java警告メッセージの回避方法	2016/6
20	○	○		○			JAVAのバージョンを調べる方法はありますか。	Javaのコントロールパネルからご確認頂けます。 ①スタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。 ②コントロールパネルより「Java」のアイコンをクリックします。 ③「Javaのコントロールパネル」より、「バージョン情報」をクリックし、バージョンをご確認ください。	④Javaバージョン確認	2016/6
21	○	○		○	○		PIN番号とは何ですか？	コアシステム対応の認証局が、ICカード購入の際にICカード毎に発行する暗証番号です。 PIN番号についてご不明点がある場合は、ICカードを購入した認証局までお問い合わせ下さい。		2016/6
22	○	○		○			PIN番号を3回連続入力間違いをするとカードが失効しますか？	ICカードの失効までの誤入力回数は、各認証局により異なります。 ご利用の電子認証局にお問い合わせください。		2016/6
23	○	○		○	○		PIN番号入力後、下記のエラーメッセージが表示されます。 「処理の受付が終了しました。再度、同じ処理を実行してください」	もう一度、同じ操作をして改善しない場合は、ブラウザの再起動を行ってください。 ブラウザの再起動を行った後も改善しない場合は、Internet Explorerの設定をし直す必要があります。	①信頼済みサイトの設定	2016/6
24	○	○		○	○		PIN番号入力後、下記のエラーメッセージが表示されます。 「実行エラーが発生しました。」	①Internet ExplorerとJavaのキャッシュのクリアを行ってください。 ②Javaポリシーの設定ができていないか確認してください。 Javaポリシーの確認・設定方法に関してはICカードを購入した認証局にお問い合わせください。	③IEキャッシュクリア手順 ⑤JARキャッシュクリア手順	2016/6
25	○	○		○	○		PIN番号入力後、下記のエラーメッセージが表示されます。 「デバイスが使用できません。」	①ICカードがICカードリーダーに正しく差し込まれているか確認してください。 ②ICカードリーダーを接続したままPCを再起動し再度ご確認ください。 ③PIN番号の入力に間違いがないか確認してください。 ④ICカード関連ソフトウェアのインストール不備が考えられますので、ICカードを購入した認証局までお問い合わせください。		2016/6

電子入札システム FAQ

NO	発注者	受注者	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
26	○	○		○	○		PIN番号入力後、下記のエラーメッセージが表示されます。 「ログインに失敗しました」	①PIN番号の入力に間違いがないか確認してください。 ②ICカードがリーダに正しく差し込まれているか確認してください。 ③ICカードリーダを接続したままPCを再起動し再度ご確認ください。 ④ICカード関連ソフトウェアのインストール不備が考えられますので、ICカードを購入した認証局までお問い合わせください。		2016/6
27	○	○			○		PIN番号を入力後、赤字で「ログインに失敗しました。ICカードを確認してください。」というメッセージが表示されます。	利用者登録を行っていない場合に表示されるメッセージです。 利用者登録を行ってください。		2016/6
28	○	○		○			Internet Explorerをバージョンアップします。 注意する点はありますか？	①ご利用になっている全ての発注機関が対応しているバージョンであることを確認してから行ってください。また、ご利用になっている認証局が対応していることもご確認ください。 ②バージョンアップ後は、Internet Explorerの設定を見直してください。	①信頼済みサイトの設定 ②互換表示設定	2016/6
29	○	○		○	○		自分のパソコンと電子入札システムの時間がずれていますが、入札書等の提出はどちらの時間に合わせれば良いですか？	電子入札システムサーバ上の時間を基準として、全ての受付開始や締切等が設定されていますので、電子入札システム画面上部中央の時刻をご確認ください。		2016/6
30	○	○			○		下記のエラーメッセージが表示されます。 「セッションタイムアウトになりました。」 電子入札システムは何分でタイムアウトになりますか？	電子入札システムは最後にサーバーと通信してから30分でタイムアウトになります。 ブラウザをすべて閉じて、再度ログインをしてください。		2016/6
31	○	○			○		ICカードが利用者登録されているかを確認するにはどうすれば良いですか？	利用者登録で「登録」をクリックすると確認できます。「挿入されているICカードの利用者はすでに登録されています。」と表示された場合は、既に登録されたICカードとなります。		2016/6
32		○			○		利用者登録メニューで「資格審査情報が登録されてません」と表示されてしまいます。	入力した「業者番号」「商号又は名称」が発注機関にて管理する情報と異なっております。入力した内容に誤りがないかご確認ください。 内容に誤りがない場合は、資格登録を実施した発注機関にお問い合わせください。 ※「商号又は名称」は必ず全角で入力してください。		2016/6
33		○			○		利用者登録を実施しましたが、登録した内容を再確認するにはどうしたらいいですか。	利用者登録メニューの「変更」から確認することができます。		2016/6
34		○			○		利用者登録にて複数のメールアドレスを登録することは出来ますか。	連絡先メールアドレスは1つしか登録出来ません。		2016/6
35		○			○		代表窓口とはなんですか？	指名競争の場合、登録した代表窓口に対して指名通知発行メールが送付されますので、登録の際は各企業様の内部で代表窓口の決定をお願いします。ICカードを複数枚登録する場合、一番最初に登録したカードで代表窓口情報を入力(編集)することができます。		2016/6
36		○			○		代表者窓口情報の変更はできますか？	可能です。 ICカードが複数ある場合、どのカードでも変更可能です。		2016/6
37		○	○		○		企業代表者変更のため、発注機関へ変更届を提出しましたが、電子入札システムの利用者登録画面で変更されていません。	企業代表者変更の手続きが完了しても、電子入札システムへの変更がまだ反映していない場合があります。 発注機関に状況を確認してください。		2016/6
38		○	○		○		ICカードは、誰の名義で利用者登録すれば良いですか？	発注機関にご確認ください。 (代表者もしくは入札の権限を委任された人物の名義のICカードで利用者登録します。)		2016/6

電子入札システム FAQ

NO	発注者	受注者	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
39		○	○		○		経常JVの利用者登録は、単体用で登録したカードを併用できますか？	発注機関にご確認ください。 (登録済みの単体用のICカードを経常JV用として追加登録することはできません。)		2016/6
40		○	○		○		建設工事と物品役務の入札に参加したい。ICカードは別に用意すべきですか？	発注機関にご確認ください。 (建設工事またはコンサルと物品役務では同じICカードで利用者登録する事ができます。)		2016/6
41		○	○		○		複数のICカードを利用者登録できますか？	システム上は複数のICカードを利用者登録することができます。 発注機関によっては、運用規定等により登録するICカードの枚数を制限している場合がありますので、事前に発注機関にお問い合わせ下さい。		2016/6
42		○	○		○		ICカード取得者が複数の場合、参加申請や入札書の提出などはどのICカードからでも提出可能ですか？	電子入札システムでは、いずれのカードでも提出可能です。 発注機関によっては、運用規定等により失格となる場合もありますので、必ず発注機関にご確認ください。		2016/6
43		○	○		○		案件に参加している途中で、別のICカードに変更することは出来ますか。	電子入札システムでは、途中でICカードを変更することが可能です。 発注機関によっては、運用規定等により変更を許可していない場合もありますので、必ず発注機関にご確認ください。 また、参加途中の案件がある場合は、「企業プロパティ」にて案件に対する登録情報を変更することが必要となります。		2016/6
44		○			○		調達案件一覧にある「企業プロパティ」とはどんな機能ですか。	参加中の案件に対して連絡先情報を変更する機能です。 企業プロパティにて情報の変更を行っても、利用者登録の内容は変更されません。また、企業プロパティにて情報を変更しても「変更完了のお知らせ」メールは届きません。		2016/6
45		○			○		利用者登録の登録(変更)内容確認画面にある、証明書シリアル番号とは何ですか。	証明書シリアル番号は認証局によって採番された番号である為、電子入札システムでは使用しません。証明書発行者、証明書有効期限もICカードに対する情報ですので、詳細はご利用の認証局にお問い合わせ下さい。		2016/6
46		○			○		利用者登録で「ICカード更新」ボタンがあります。これはどのような機能でしょうか。	ICカードに登録済みの情報を新しいICカードに引き継ぐ機能です。ICカードの有効期限切れが間近となった際等にご利用ください。		2016/6
47		○			○		ICカード更新後に旧カードは利用できますか？	更新後は、旧カードが「有効期限内であっても利用不可能となります。		2016/6
48		○			○		ICカードを更新した場合、新ICカードでログインし、旧ICカードで参加した案件の情報を確認できますか？	確認できます。		2016/6
49		○			○		競争参加資格確認申請書を提出した事を確認する方法はありますか？	提出された場合は、調達案件一覧の競争参加資格確認申請書のボタンが「提出」から「表示」に変わります。 また提出前や、正常に提出されていないと「提出」のままとなります。		2016/6
50		○			○		調達案件概要にて「内訳書無し」とされている案件の場合、入札書提出時に内訳書を添付できないのですか？	発注者が「内訳書無し」として登録した案件の入札書には、内訳書を添付することができません。 また、「内訳書有り」として登録した案件の場合は、何らかのファイルを添付しないと入札書を提出することが出来ません。		2016/6
51	○	○		○	○		入札書送信時、下記のエラーメッセージが表示されます。「指定された添付資料が見つかりません」	①添付するファイルがネットワーク上の共有フォルダ、またはフロッピーディスク等の外部メディアに保存されているとうまくいかないことがあります。ファイルを一度デスクトップ等に保存してから再度ファイル添付を実行してください。 ②信頼済みサイトの設定が正しく設定されていない可能性があります。未設定であれば設定して頂き、設定済みの場合でも再度設定内容を確認してください。	①信頼済みサイトの設定	2016/6

電子入札システム FAQ

NO	発注者	受注者	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
52		○			○		入札書を提出する画面のくじ番号とはなんですか？	電子入札システムでは落札候補者が複数いた場合、電子くじにより決定します。このくじを行うときに用いる受注者が入力する任意の数値のことを言います。くじ番号欄には、任意の3桁の数字を入力してください。(例:000,001,123)		2016/6
53		○			○		入札書を提出する際に内訳書の内容を確認できますか？	入札書提出時の作成画面および提出内容確認画面では内訳書の内容を確認できません。提出前に添付内容をよくご確認ください。		2016/6
54		○			○		入札書が正常に提出された事を確認するにはどうしたら良いですか？	入札書提出後、入札書受付票が自動発行されます。電子入札システムメニューの「入札状況一覧→入札/見積/辞退届受付表欄」に「表示」ボタンが表示されていれば提出されています。		2016/6
55		○	○		○		技術資料を再提出することは出来ますか。	技術資料受付票の到着前であれば、再提出を希望する旨を発注者に連絡して下さい。発注者に再提出を許可された場合は調達案件一覧にある「競争参加資格確認申請書/参加表明書/技術資料」の「再提出」欄に再提出ボタンが表示され、技術資料を再提出することが出来るようになります。技術資料受付票が到着した後は電子入札システム上での再提出が出来ませんので、その際は発注機関にご相談下さい。		2016/6
56		○			○		「〇〇のお知らせ」メールが届きますが、このメールは誰が送っているのですか？	各種お知らせメールは、電子入札システムが発注機関に代わり自動的に送信しています。		2016/6
57		○			○		通常指名競争入札にて、指名通知書が発行されたかどうかはどのように確認すればいいですか。	指名通知書が発行されると、その旨をお知らせするメールが自動送信されますので、お知らせするメールを受信後、電子入札システムにてご確認ください。また、指名通知のお知らせメールは利用者登録時に代表窓口として登録したメールアドレスに通知されます。		2016/6
58		○			○		電子入札システムの検証機能はICカードが無くても操作することが出来ますか。	検証機能はICカードを使用しませんので操作することが出来ます。		2016/6
59		○			○		検証機能とは何ですか。	入札金額が改ざんされていないことを確認できる機能です。		2016/6
60		○			○		検証機能の中にある「入札時ハッシュ」「事前公開時入札金額ハッシュ」「入札公開時入札金額ハッシュ」の「ハッシュ」とはなんですか？	ハッシュとは、入札金額の改ざんを検証する為に使用する金額を変換したデータです。開札前と開札後の入札金額をデータ化し、比較することにより改ざんの有無を検証することが出来ます。		2016/6
61		○			○		質問回答は案件に参加していない業者でも閲覧可能ですか？	入札説明書の質問回答は、案件に参加していない業者でも閲覧可能です。ただし、業者名称は表示されません。		2016/6
62		○			○		説明要求で質問を登録しましたが、回答一覧に添付ファイルが表示されません。	質問登録後は添付ファイルは表示されません。登録前に添付内容をご確認下さい。		2016/6
63		○			○		質問を間違っで登録したのですが、取消・変更をすることは出来ますか？	取消・変更はできません。発注機関にお問い合わせ下さい。		2016/6
64		○			○		入札説明書の質問は全入札方式で可能ですか？	一般競争入札、(簡易)公募型競争入札、(簡易)公募型プロポーザル入札方式は入札に参加していない企業でも閲覧可能です。標準プロポーザル、通常型指名競争入札は発注者から提出要請、指名を受けた企業以外は閲覧できません。		2016/6
65	○	○		○	○		ヘルプデスクにIP電話から電話しても繋がりません。	電子入札システムシステムのヘルプデスク電話回線はNTTコミュニケーションズのナビダイヤル®サービスを利用しており、ナビダイヤル®サービスの制限により一部のIP電話からは接続できません。一般電話もしくは、携帯電話から電話をお願いいたします。また、メールでも問い合わせを受付しておりますのでご活用ください。		2016/6

①信頼済みサイトの設定

※Windows8.1、をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

(1)メニューバー[ツール]ー[インターネットオプション]①をクリックします。



2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。

(1)[セキュリティ]タブ①をクリックします。

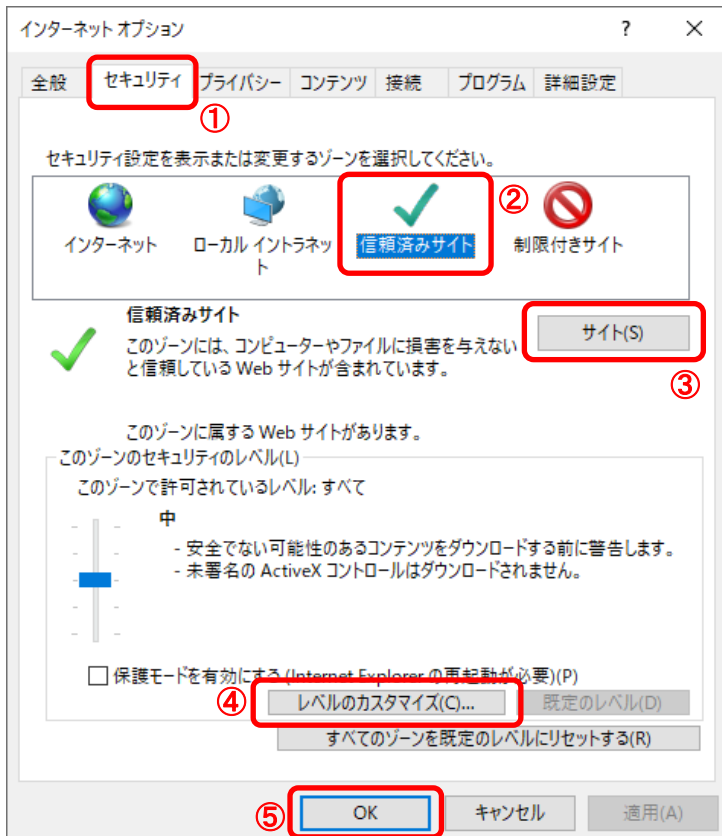
(2)[信頼済みサイト]②をクリックし、[サイト]ボタン③をクリックします。

→2. 1. 信頼済みサイトダイアログ (1)へ

(3)[レベルのカスタマイズ]ボタン④をクリックします。

2. 2. セキュリティ設定ー信頼されたゾーンダイアログ (1)へ

(4)[OK]ボタン⑤をクリックします。

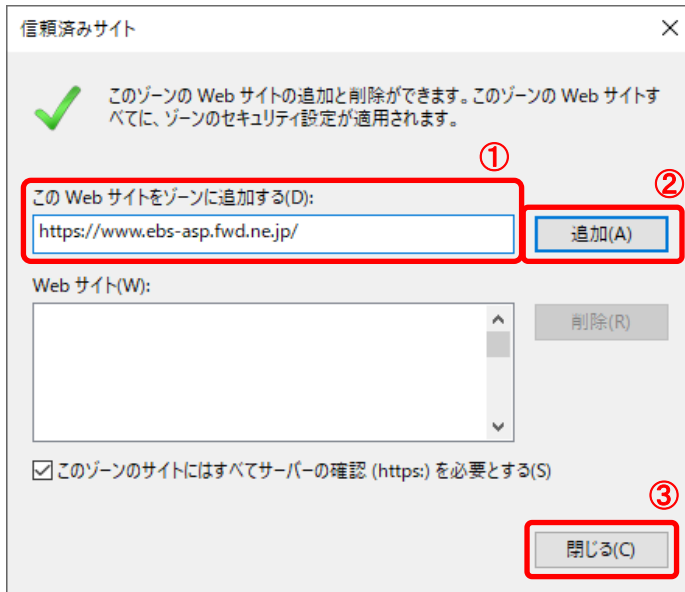


2. 1. 信頼済みサイトダイアログにて以下の操作を行います。
 - (1) [次のWebサイトをゾーンに追加する]欄①に下記「電子入札URL」に示すアドレスを一行ずつ入力します。
 - (2) [追加]ボタン②をクリックし、[Webサイト]にURLが追加されたことを確認します。
 - (3) 上記(1)～(2)を必要なURL分行います。

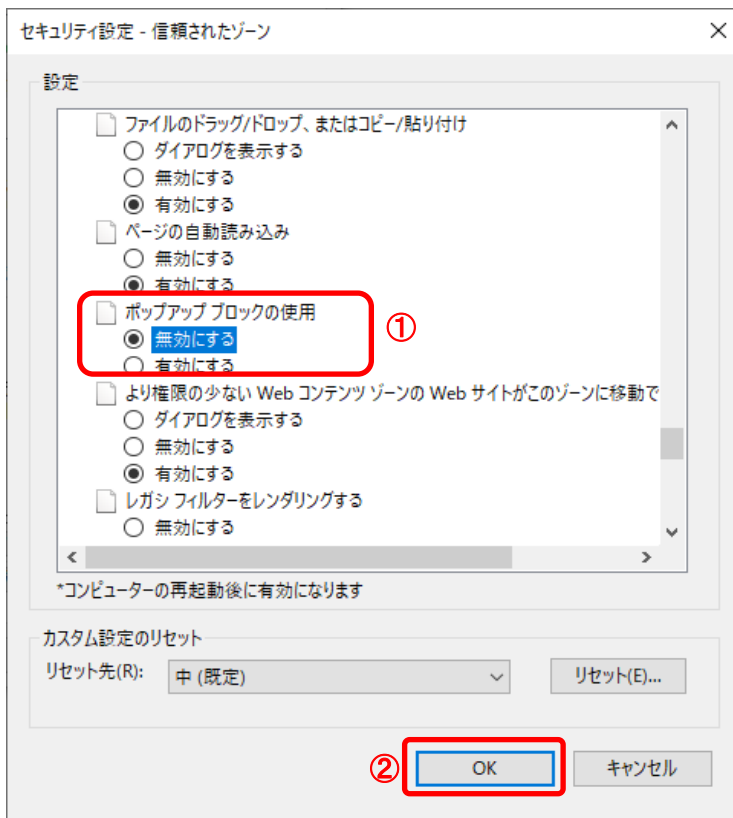
電子入札URL

受注者: <https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/> (電子入札システムを利用する場合のみ必要)
<https://www.epi-asp.fwd.ne.jp/>

- (4) [閉じる]ボタン③をクリックします。
 →2. インターネットオプションダイアログ(3)へ



2. 2. セキュリティ設定 - 信頼されたゾーンダイアログにて以下の操作を行います。
 - (1) [ポップアップブロックの使用]①を[無効にする]に変更します。
 - (2) [OK]ボタン②をクリックします。
 →2. インターネットオプションダイアログ(4)へ



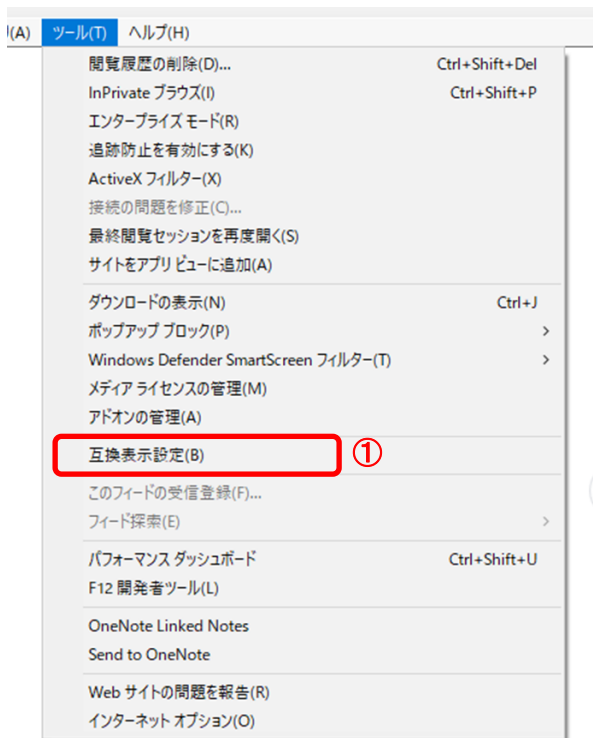
3. Internet Explorerを終了します。他に開いているInternet Explorerがあれば全て終了してください。

以上で設定は終了です。

②互換表示設定

※Windows8.1、をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。
Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

(1)メニューバー[ツール]ー[互換表示設定]①をクリックします。

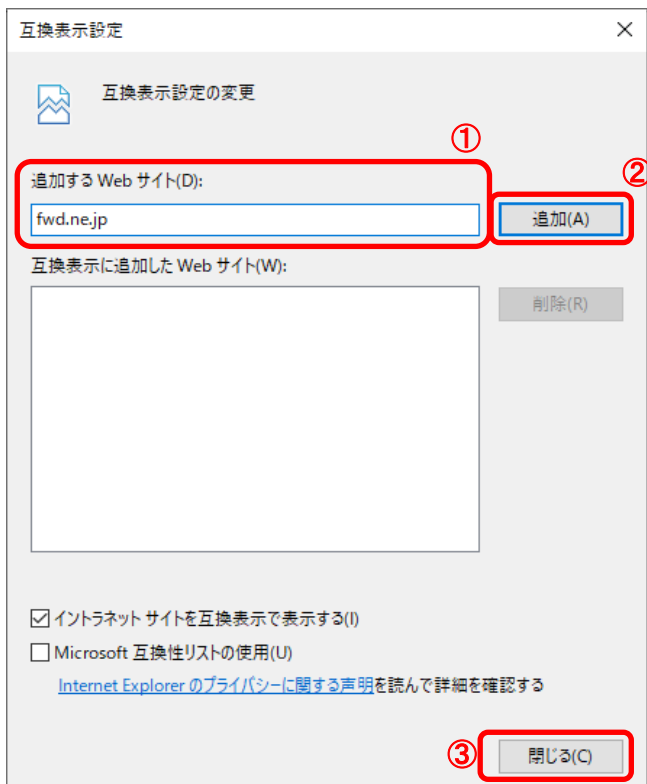


(2) [追加するWebサイト]①の欄に以下を入力します。

fwd.ne.jp

(3) [追加]ボタン②をクリックし、[互換表示に追加したWebサイト]にURLが追加されたことを確認します。

(4) [閉じる]ボタン③をクリックします。



(5) Internet Explorerを終了します。他に開いているInternet Explorerがあれば全て終了してください。

以上で設定は終了です。

③IEキャッシュクリア手順

・設定手順はバージョンにより異なります。以下のご利用のバージョンの手順をご参照ください。
※Windows8.1をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

(1)メニューバー[ツール]-[インターネットオプション]①をクリックします。



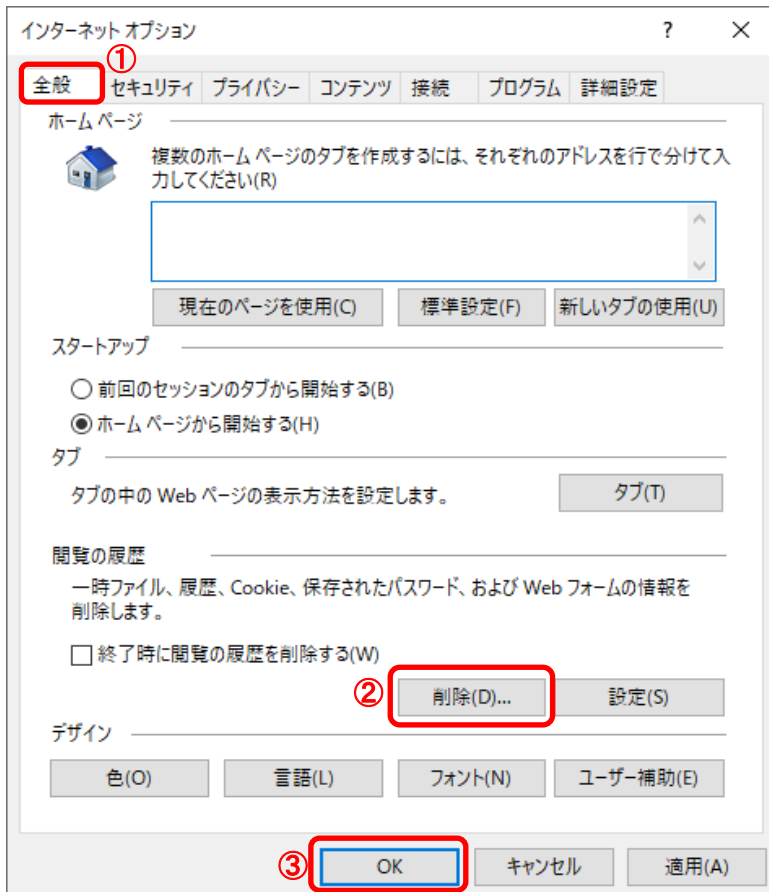
2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。

(1)[全般]タブ①をクリックします。

(2)「閲覧の履歴」にある[削除]ボタン②をクリックします。

→3. 閲覧の履歴の削除ダイアログ (1)へ

(3)[OK]ボタン③をクリックします。



3. 閲覧の履歴の削除ダイアログにて以下の操作を行います。
- (1)「インターネット一時ファイルおよびWebサイトのファイル」チェックボックス①をチェックします
 - (2)「クッキーとWebサイトデータ」チェックボックス②をチェックします。
※「履歴」チェックボックスにはチェックをしないでください。
「履歴」を削除した場合、互換表示設定にて設定したアドレスが消えてしまいます。
 - (3)「削除」ボタン③をクリックします。
- 2. インターネットオプションダイアログ (3)へ

閲覧の履歴の削除

お気に入り Web サイト データを保持する(R)
お気に入り Web サイトの基本設定を保持したり、ページを素早く表示したりするために使用される、Cookie とインターネット一時ファイルを保持します。

インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル(T) ①
情報をすばやく表示するために保存された Web ページ、イメージおよびメディアのコピーです。

クッキーと Web サイト データ(O) ②
基本情報の保存または Web サイトのパフォーマンス向上のために Web サイトによってコンピュータに格納されたファイルまたはデータベースです。

履歴(H) ※注意
閲覧した Web サイトの一覧です。

ダウンロードの履歴(W)
ダウンロードしたファイルの一覧です。

フォーム データ(F)
フォームに入力した情報を保存したものです。

パスワード(P)
以前アクセスした Web サイトにサインインするときにパスワードが自動入力されるように、パスワード情報を格納したファイルです。

追跡防止、ActiveX フィルター、およびトラッキング拒否のデータ(K)
フィルター処理から除外される Web サイトの一覧、閲覧した情報を自動的に流出させている可能性があるサイトを検出するために追跡防止が使用するデータ、およびトラッキング拒否要求に対する例外です。

[閲覧の履歴の削除についての詳細](#) ③

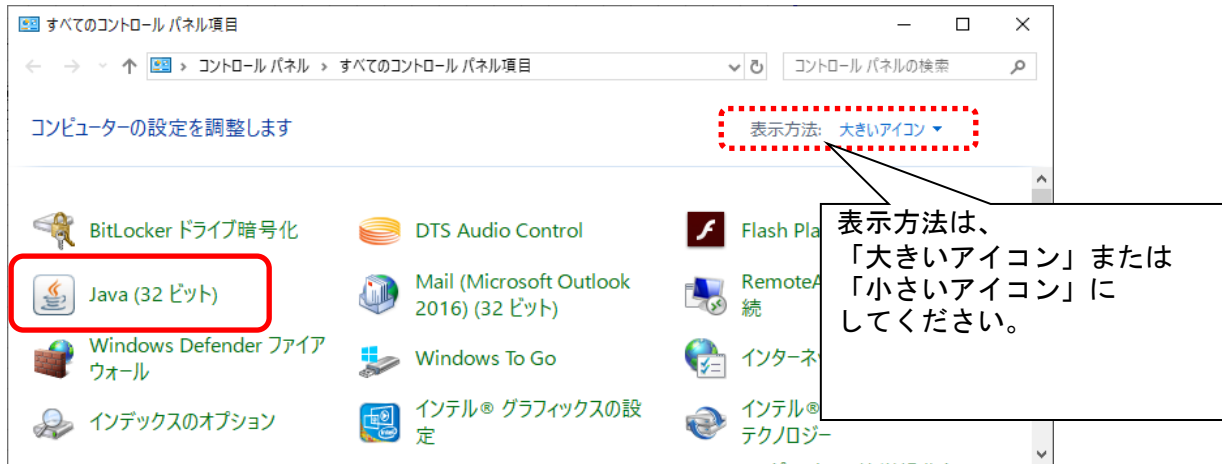
削除(D) キャンセル

以上で設定は終了です。

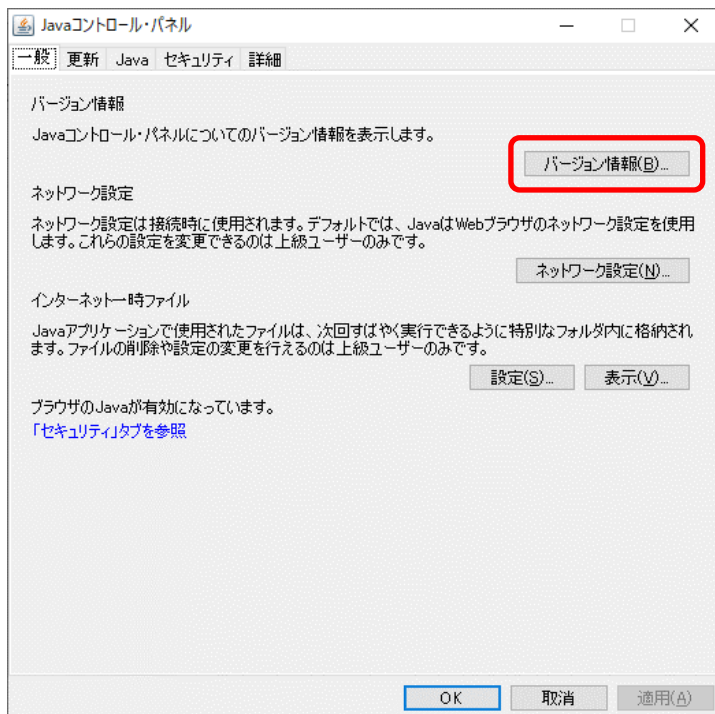
④Javaバージョン確認

JAVAのバージョンは以下の方法でご確認ください。(※お使いのOSによって画面が異なる場合があります)

1. 使用するパソコンを起動し、「スタート」メニューをクリックします。
2. 表示されるメニューより、「コントロールパネル」をクリックします。
3. コントロールパネルより「Java」のアイコンをクリックします。



4. 「Javaコントロール・パネル」が表示されます。「バージョン情報(B)」ボタンをクリックします。



5. 「Javaについて」が表示されます。下記図の赤枠部分がバージョンです。

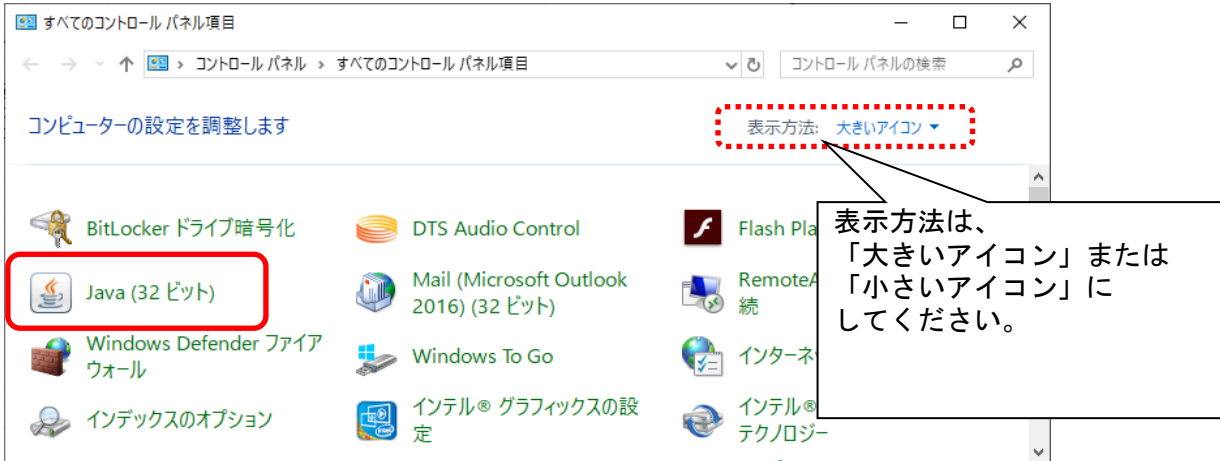


確認終了後は、すべての画面を閉じてください。

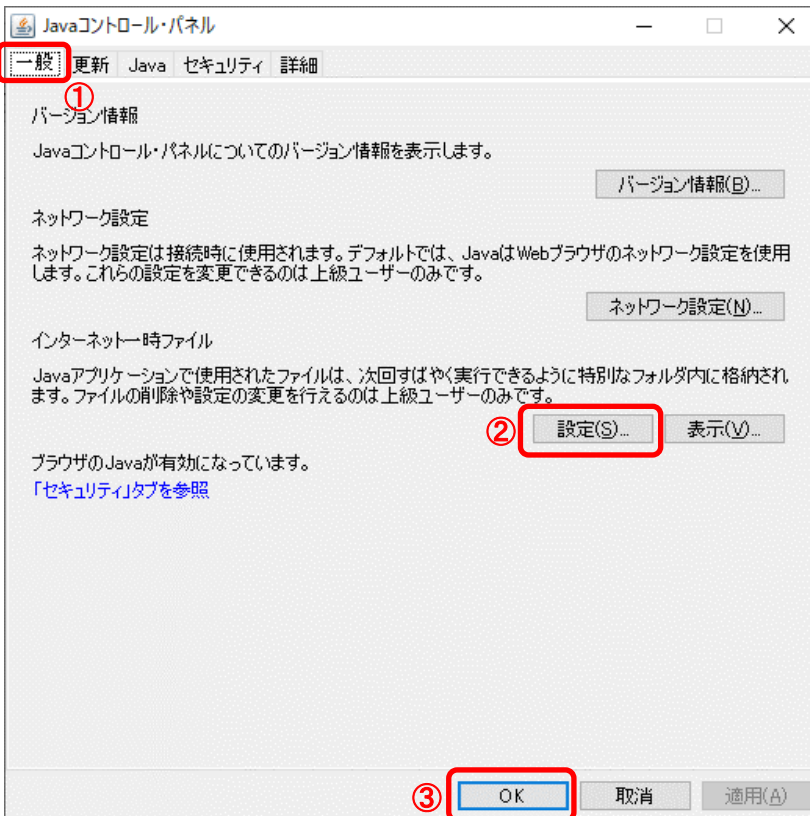
⑤Javaキャッシュクリア手順

・Javaキャッシュは以下の手順でクリアしてください。

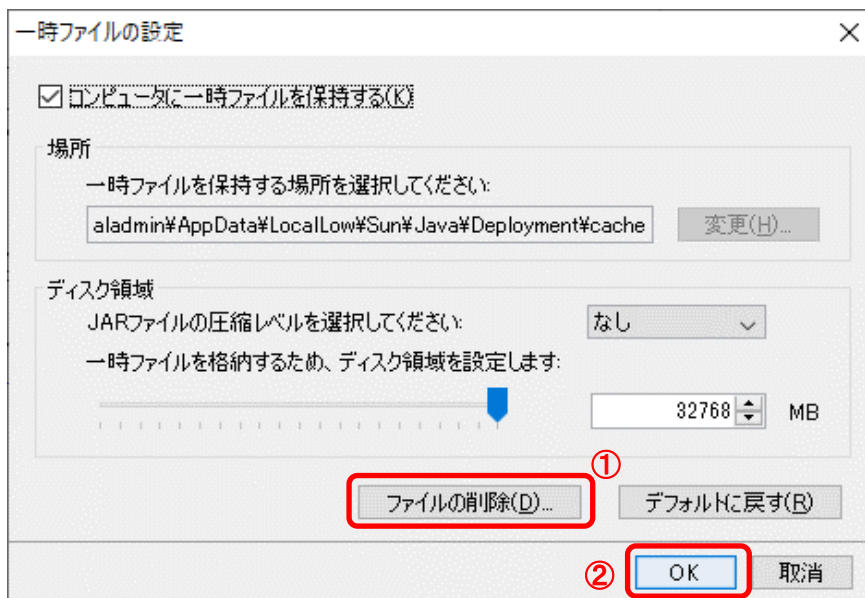
1. 使用するパソコンを起動し、「スタート」メニューをクリックします。
2. 表示されるメニューより、「コントロールパネル」をクリックします。
3. コントロールパネルより「Java」のアイコンをクリックします。



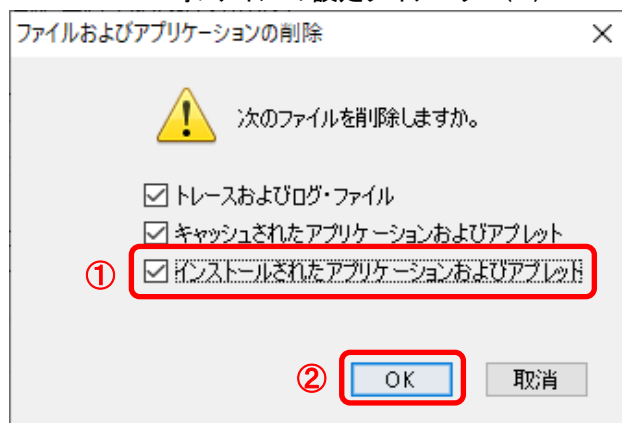
4. Java コントロールパネルにて以下の操作を行います。
 - (1) [一般]タブ①をクリックします。
 - (2) 「インターネット一時ファイル」にある[設定]ボタン②をクリックします。
→4. 1. 一時ファイルの設定ダイアログ (1)へ
 - (3) [OK]ボタン③をクリックします。



4. 1. 一時ファイルの設定ダイアログにて以下の操作を行います。
- (1)[ファイルの削除]ボタン①をクリックします。
→4. 1. 1. 一時ファイルの削除ダイアログ (1)へ
 - (2)[OK]ボタン②をクリックします。
→4. Java コントロールパネル (3)へ



4. 1. 1. 一時ファイルの削除ダイアログにて以下の操作を行います。
- (1)「インストールされたアプリケーションおよびアプレット」チェックボックス①にチェックつけます。
 - (2)[OK]ボタン②をクリックします。
→4. 1. 一時ファイルの設定ダイアログ (2)へ



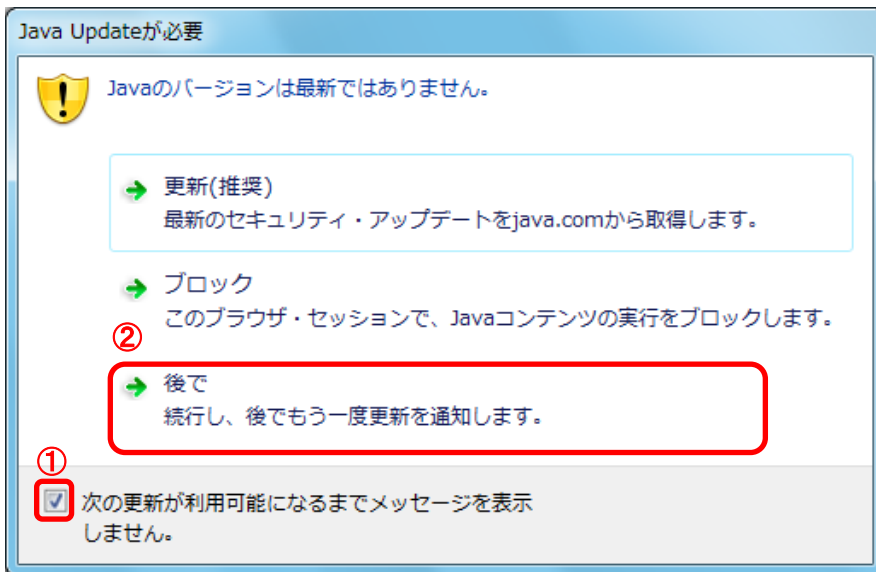
以上で設定は終了です。

⑥Java警告メッセージの回避方法

《Java アップデートに関するメッセージ》

電子入札システムにログインする際に、Javaのアップデートが必要とメッセージ表示される場合がありますが、Javaをアップデートしないよう注意してください。
以下の手順にて、メッセージを回避してください。

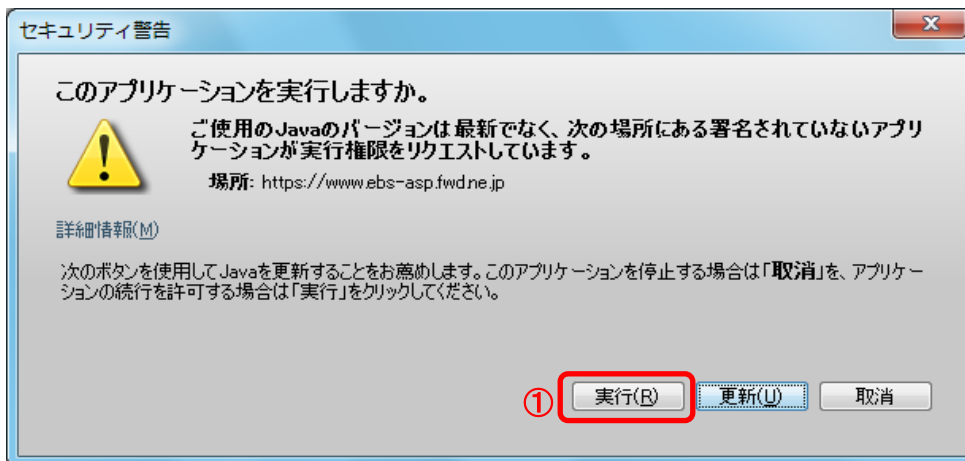
1. 「次の更新が利用可能になるまでメッセージを表示しません。」のチェックボックス①にチェックします。
2. 「後で」をクリックします。



《Java セキュリティ警告に関するメッセージ》

電子入札システムにログインする際に、Javaセキュリティ警告が表示される場合があります。
以下の手順にて、メッセージを回避してください。(セキュリティ警告は2回表示されます)

1. 「実行」ボタン①をクリックします。



2. 「実行」ボタン①をクリックします。



⑦Javaセキュリティ設定

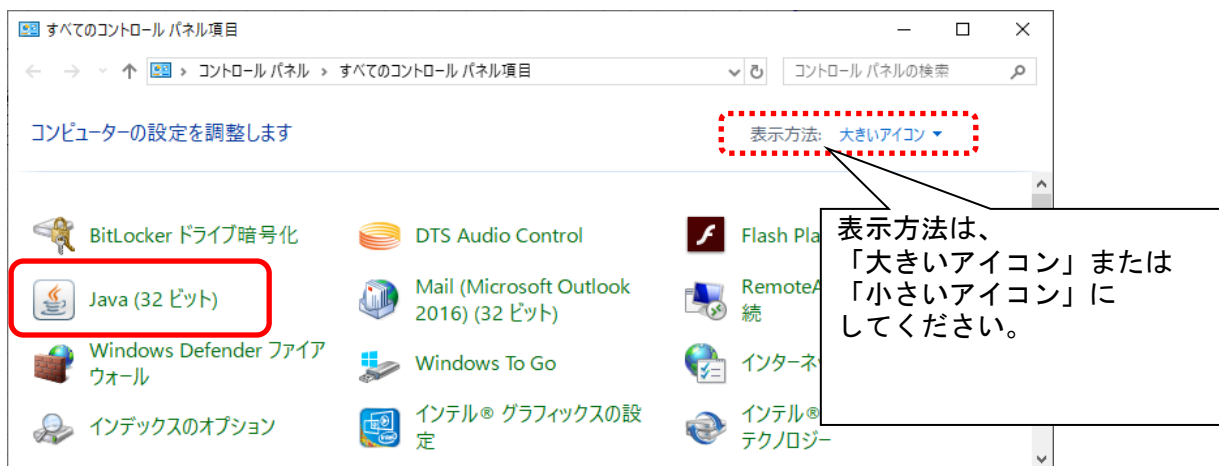
Javaのセキュリティ強化に伴い、以下のようなメッセージが表示される場合があります。
Javaコントロールパネルより、セキュリティの設定をご確認ください。



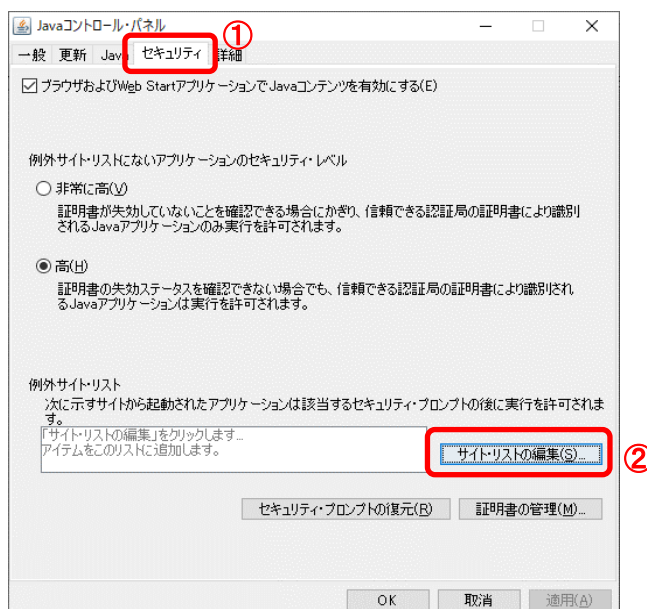
JRE8を利用するには、コアシステムを利用するすべてのPCにおいて、Javaコントロールパネル「例外サイト・リスト」に、ご利用頂く電子入札システムのURL (javaポリシー記載と同じ) 及び電子入札専用クライアントソフトウェア (各認証局が提供) のプログラムファイル名を設定する必要があります。
設定するURLや詳細の手順に関しては各認証局にご確認ください。

参考として、以下に直接追加する手順を記載します。

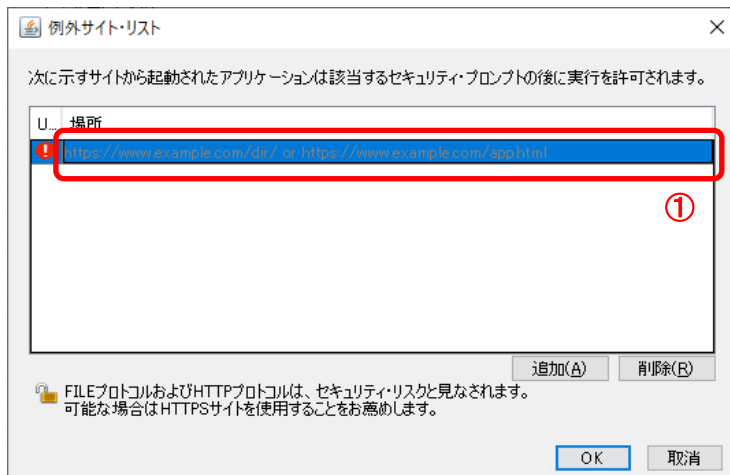
1. 使用するパソコンを起動し、「スタート」メニューをクリックします。
2. 表示されるメニューより、「コントロールパネル」をクリックします。
3. コントロールパネルより「Java」のアイコンをクリックします。



4. Java コントロールパネルにて以下の操作を行います。
(1) 「セキュリティ」タブ①をクリックして、「サイト・リストの編集」ボタン②をクリックします。



- (2)「場所」欄①にご利用頂く電子入札システムのURL (javaポリシー記載と同じ) 及び電子入札専用クライアントソフトウェア (各認証局が提供) のプログラムファイルが置かれているフォルダ名を登録します。
(注意) JRE のインストール先を変更した場合は、以下フォルダ名が変わりますのでご注意ください。



電子入札専用クライアントソフトウェアは以下フォルダ名を「置換条件」(*)に従い変換したものを登録します。

・32bit PCの場合

フォルダ名 : C:\Program Files\Java\jre1.8.0_XX\lib\applet\
 置換後のフォルダ名 : file:///C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0_XX/lib/applet/

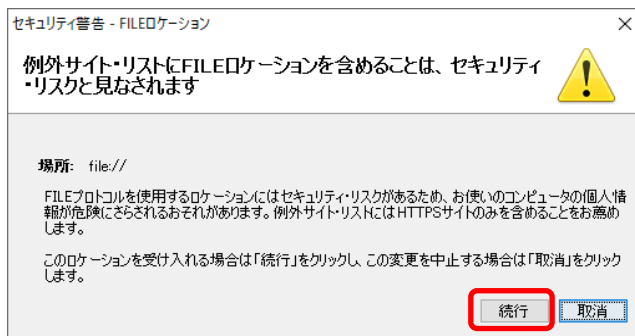
・64bit PCの場合

フォルダ名 : C:\Program Files (x86)\Java\jre1.8.0_XX\lib\applet\
 置換後のフォルダ名 : file:///C:/Program%20Files%20(x86)/Java/jre1.8.0_XX/lib/applet/

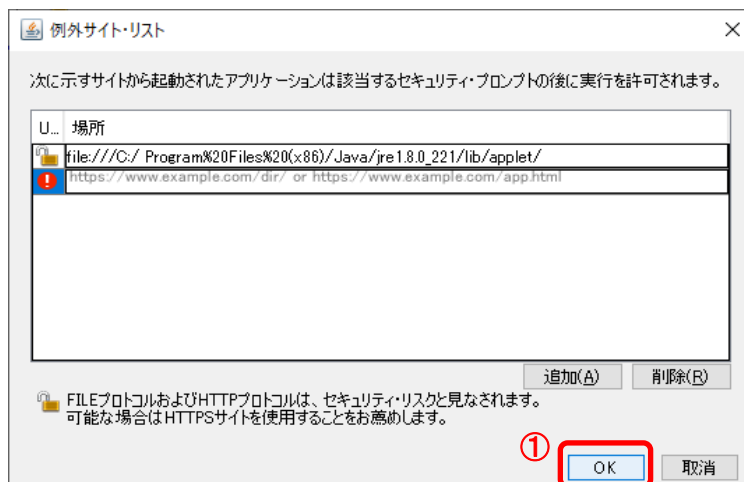
(*)置換条件

- ・ 半角スペースがある場合は、「%20」に置き換える
- ・ 「¥」は「/」に置き換える
- ・ 先頭に「file:/」を付ける

登録する際に、以下のようなセキュリティ警告がでる場合があります。「続行」を選択してください。



- (3)登録が完了したら、「OK」ボタン①をクリックします。

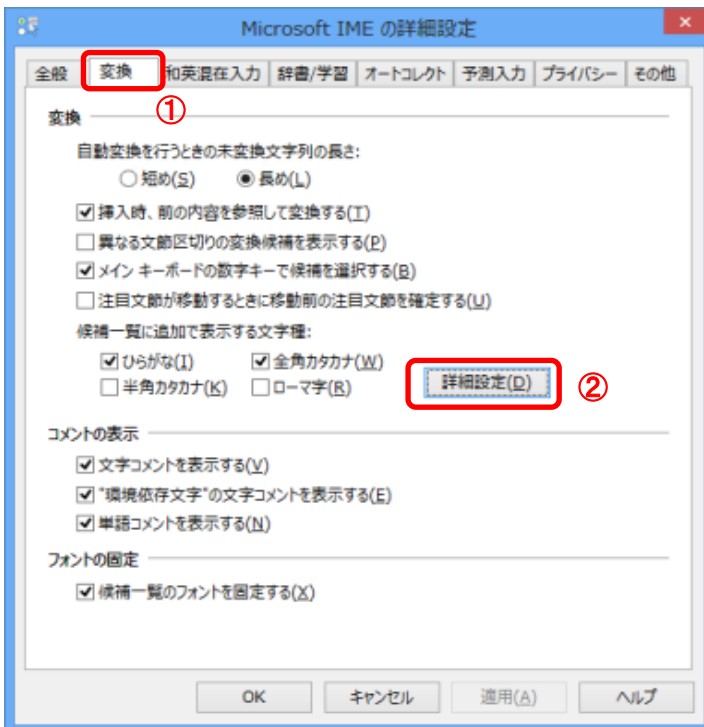


※本手順は参考資料です。認証局によって登録するURLが異なる場合があります。詳細の設定方法に関しては、ご利用の各認証局へお問い合わせください。

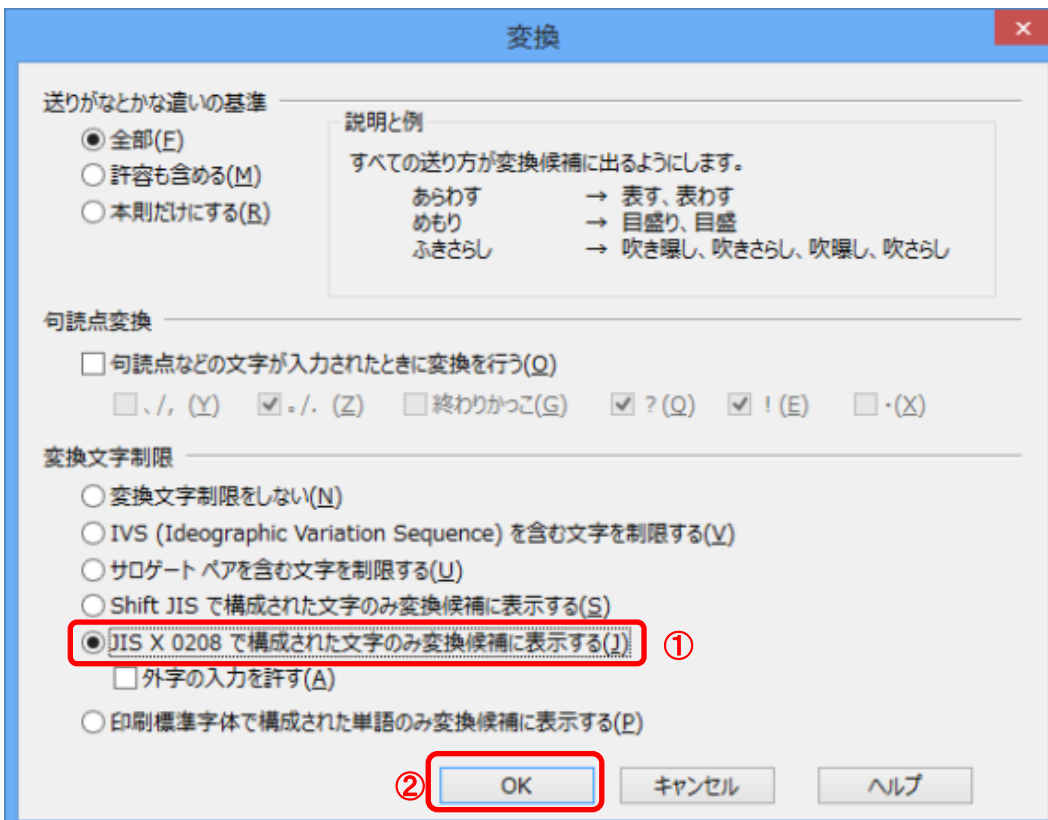
⑧フォントの設定

電子入札システムを使用するパソコンでは、JIS2004対応フォントが使用できません。
以下手順を参照の上、JIS2004の使用制限を行ってください。

- (1)IMEのプロパティを表示します。
※ツールバーに表示される「A」や「あ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- (2)IME プロパティを開き、画面上部の「変換」タブ①をクリックします。
画面上部の「詳細設定」ボタン②をクリックします。



- (3)「JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する」①をチェックします。
「OK」ボタン②をクリックします。



以上で設定は終了です。

⑨暗号化通信方式「TLS1.2」有効化の設定

※Windows8.1をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

(1)メニューバー[ツール]ー[インターネットオプション]①をクリックします。

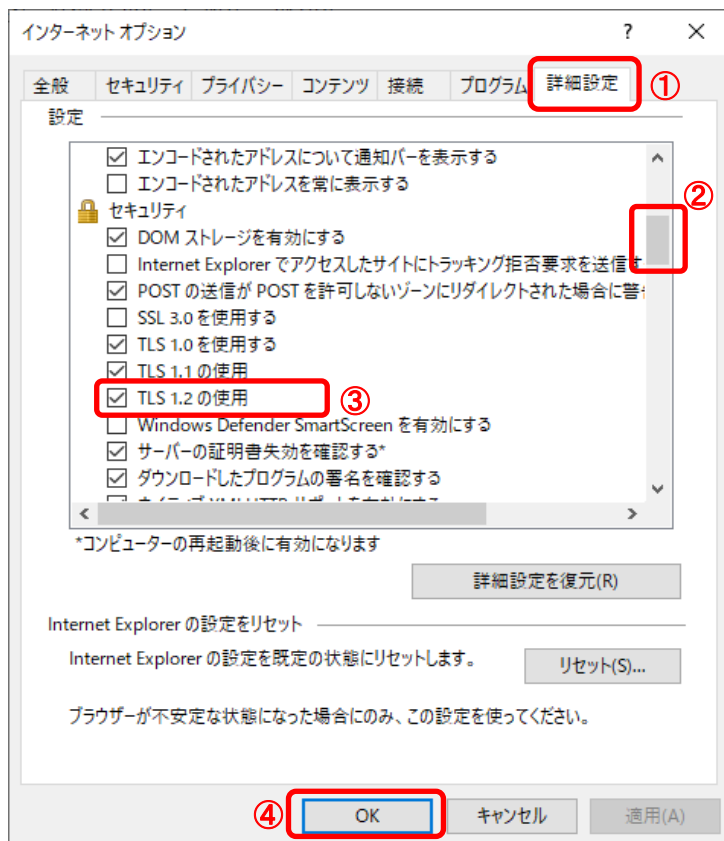


2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。

(1) [詳細設定] タブ①をクリックします。

(2) 「セキュリティ」項目部分までスクロール②し、[TLS1.2を使用する]③にチェックが選択されていることを確認しま
→[TLS1.2を使用する]③にチェックが選択されていない場合はチェックを付けてください。

(3) [OK] ボタン④をクリックします。



3. Internet Explorerを終了します。他に開いているInternet Explorerがあれば全て終了してください。

以上で設定は終了です。